

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	道路維持補修費					
担 当 課 係 名	建設 課		監理 係		作成者	武藤義彦
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流拠点のまち				総合計画の ページ
	基本計画	国道や県道、生活道路の整備				
	主要施策	市道の整備				32
予 算 費 目	一般 会計	8 款 土木費	2 項 道路橋りょう費	2 目 道路維持費		
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規 / 継続の区分			
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☒ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等						
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☐ 直 営 ☒ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	地域住民及び通行車両等
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	既設舗装の破損補修、既設道路側溝・暗渠の修繕、歩道平板ブロックの補修、局部改良を行い 道路の安全と利便性を図る。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	既設破損部の調査、測量、設計、積算、工事発注、工事監督を行う。

【事務事業の推移】

（単位：千円）

	項 目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	舗装補修、歩道補修	m ²	1,895	3,850	
		側溝修繕、局部改良	m	127	75	
	成果指標	要望処理率	%	予算内対応	予算内対応	
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)			21,168	21,030	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源		21,168	21,030	
	人件費 (B)		—	2,984	3,067	
		職員数	—	0.38	0.38	
		職員平均人件費	—	7,853	8,071	
		(A) + (B) 投下コスト	—	24,152	24,097	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	12,745	6,259	
			—	190,173	321,293	
	市民1人当たりのコスト(円)		—	757	768	

【事務事業の今までの成果】

舗装補修、側溝修繕、局部改良、歩道補修等を随時実施し、通行車両及び歩行者の安全・利便性を図っている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	維持補修費の予算獲得に苦慮している。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	早期対応処理

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
B	A	現状のまま継続（実施）	施設（舗装等）が老朽化しており、補修・改良の要望が多いため、これに対応できる方向の検討が必要である。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

事業の進捗を図るため、有利な補助事業の導入を検討

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B	補修・改良の要望が多いが、市民のニーズを把握し、市民生活に影響のないよう計画的に効率よく事業を推進する必要があると考える。

一次評価診断図

